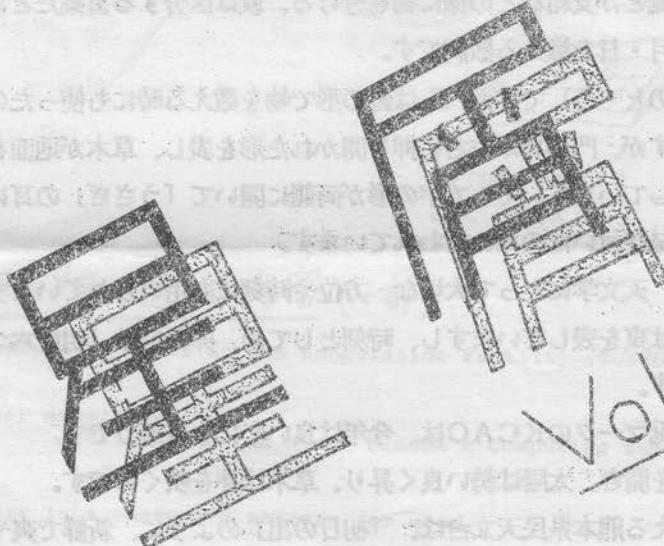


1987

Vol. 146



## 新春隨想

台長宮本幸男

あけまして おめでとう ございます。

今年も天文関係その他の方々から、お心のこもった沢山の年賀ハガキを頂いて、旧交を温めているところです。そのハガキには年賀にふさわしく、趣向を凝らした図柄やハレー彗星の写真まであり、その人のイメージが浮かびあがって、楽しい想いにひたることが出来ました。図柄のダントンは、今年の干支（え・と）に因んで“兎”が多くったのですが、KCAO=熊本県民天文台のシンボルマークも“うさぎ”ですから、尚更多かったのでしょうか？

科学優先の現代社会でも、年の始めともなれば、むかし創られた暦の十干・十二支が大いにはぼをきかせているのですから、古いものへの憧がれは意外と強いのかもしれません。

むかし・むかし 暦を作り出すために、人の知恵を結集して出来上がったのが天文学の始めですから、懐古趣味ではありませんが干支（え・と）について少し調べてみました。

さて、干支（え・と）の干（え）は、もともと若干（じゆくかん）等のこうに物を数える言葉ですし、支（と）は支流とか支給などの様に物を分ける、或は区分する言葉だと言われています。勿論此の場合は、年・月・日を数える数詞です。

今年は、丁卯（ひのと・う）ですが、丁は釘の形で物を数える時にも使ったのでしょう。卯は本来“ぼう”と読みますが、門の扉が左右に押し開かれた形を表し、草木が地面を押し分けて、地上に萌え出す状態を示しています。そして字の形が両側に開いて「うさぎ」の耳に似ているところから“卯”と“兎”が結び付いたのだと言われています。

そのほか十二支は、天文学にとって大切な、方位や時刻にも用いられています。

方位としての、卯は東を表していますし、時刻としての、卯の刻は「明け六つの鐘の鳴るころ」つまり5時～7時です。

こう見えてくると、兎マークのKCAOは、今年は良い年になりそうです。

東方に向かって門を開き、太陽は勢い良く昇り、草木は芽を吹くのです。

5月に5周年を迎える熊本県民天文台は、「初日の出」のように、新鮮で爽やかでありたい、と願っています。県民天文台会員のみなさん、今年も大いに頑張りましょう。そして、5周年目を迎える天文台に皆さんのが絶大なるご協力を切にお願い致します。

(おわり)

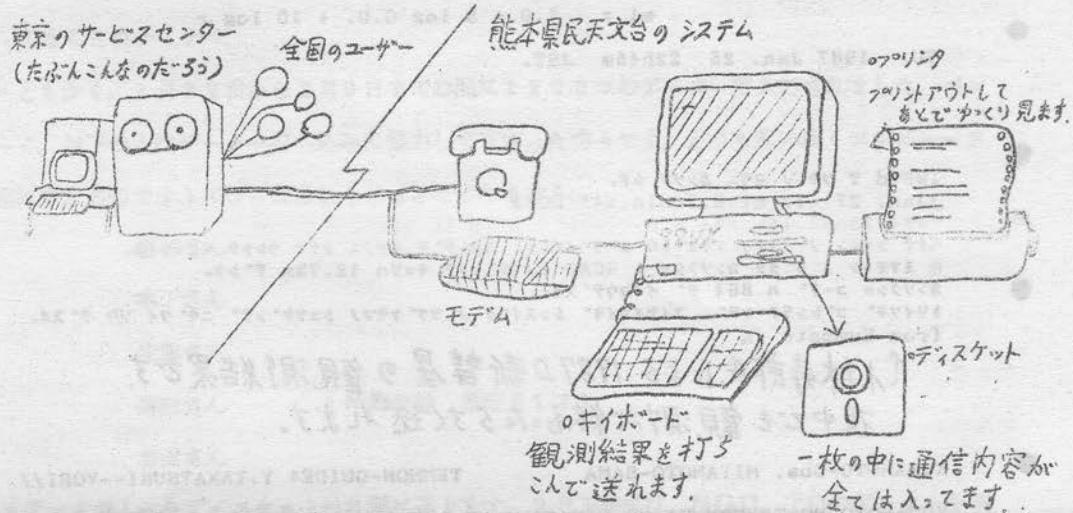
## O A A テキスト利用状況

Y. TAKATA

前回の星屑、長谷先生の「パソコン強要講座」に引きつづき、またパソコンの話。「またか。。。」という会員の人の溜め息が聞こえてきそうですが。。。まあ読んで下さい。

現在、天文台では9.8 VXを使って、東京のOAAアストロダイナミック・リサーチセンターという所とパソコン通信をやっています。OAAからは、彗星や小惑星・新星など最新の情報が手に入ります。は入ってきた情報は「OAAテキスト」という名前で番号を順に付け、一枚のディスクケットの中に保管しています。2月9日現在で番号は98。つまり、OAAとパソコン通信を始めた去年10月から、98回のパソコン通信をやった事となります。

百聞は一見にしかず！ある日のパソコン通信の内容をプリントアウトしたのを載せます。



### 1月28日の通信内容（一部）

- ① Welcome to CFAD5 at OAA Computation Facility (TOKYO). ← OAA通信の  
はじまりへ
- ② User name: OAA  
Welcome to OAA Minor Planet & Computing section. ← OAA通信の  
はじまりへ
- Here is a emergency message for user. ← サッく  
新彗星 1987D の  
情報です.
- 27 0139-303720  
ASTROGRAM CAN  
ATTN KOZAI KOSAI  
TERASAKO 1987D COMET TERASAKO  
19501 70124 39583 23163 13032 /1087 66490 37282  
1987D COMET MITSUMA  
19501 70126 37847 23312 12923 /1087 64796 37322  
KOSAI GREEN 1JAN26/16352

Orbital elements by T. Urata.

← 清田武さんによる

Comet Nishikawa-Takamizawa-Tago (1987c)

1987C N.T.T.彗星の

T = 1987 Mar. 18.124 ET

軌道要素及び

q = 0.8487 AU

予想位置です。

Peri. = 203.43

Node = 176.03 (1950.0)

Incl. = 172.13

From 10 obs. 1987 Jan. 20-24, mean residual 1".28.

1987	R.A. (1950.0)	Decl.	G.D.	r	Elong.	Mot./PA	mi
Oh	ET	h m					
Jan. 25	23 55.98	+ 4 50.0	1.486	1.262	57.2	27.1/226	8.9
30	23 49.48	+ 3 15.7	1.568	1.201	50.0	23.5/225	8.8
Feb. 4	23 43.94	+ 1 52.8	1.643	1.142	43.1	20.8/224	8.7
9	23 39.08	+ 0 38.4	1.709	1.086	36.4	19.0/224	8.5
14	23 34.69	- 0 29.9	1.766	1.033	29.8	17.7/224	8.4
19	23 30.51	- 1 33.9	1.811	0.985	23.4	17.0/224	8.2
24	23 26.69	- 2 35.3	1.843	0.942	17.0	16.8/224	8.1
Mar. 1	23 22.83	- 3 35.1	1.851	0.906	10.7	16.6/224	7.9
6	23 18.97	- 4 34.5	1.864	0.878	4.4	16.8/224	7.8
11	23 15.05	- 5 34.4	1.851	0.859	2.0	17.1/224	7.7
16	23 11.03	- 6 35.4	1.822	0.850	8.3	17.6/224	7.6
21	23 06.89	- 7 38.1	1.776	0.850	14.6	18.2/224	7.5

$$m_1 = 7.0 + 5 \log G.D. + 10 \log r$$

TU, 1987 Jan. 25 22h45m JST.

1987d フツキノヨウニ カンゾク シテ。

JJan. 27.412 mi=8.2 dia.=4° DC=5

ツイテイ 23:35. 1km ドライ - 22:45. 1km ドライ - 21:30. 1km ドライ

ヘタナ シヤシン ノ ソクティ アリカトウ コロッキ マン。 スコシテモ オマフニ シテ カレシク オモイマス。

m ミヤモトシ ノ シタク カンヅクショト KCAC トメ シツツク キョリハ 12.7km テシタ。

カンヅクシコ コード...ハ 864 テ イヨウテ スキ。

トリイソギ コレンラク マテ。 スイセイカイキ シンスイタイ ノ ツツケサマノ シュツケンテ ニセ"ワイ ゾウ テスキ。

from Kumamoto JK

↑ 小林寿郎氏による 1987D 新彗星の観測結果です。

夜中でも観測が終わったらすぐ送れます。

KUMAMOTO-Obs. MIYAMOTO-SAMA

TEMMON-GUIDE: Y.TAKATSUKI--YORI//

KUMANOTO NO TENMON-KA NO MINASAMA NO GOKATSUYAKU NOHODO  
ME WO MIHARUYOODE KOKORO YORI OIWAI MOUSHIAGEMASU.

TOKORODE KUMAMOTO NO NISHIKAWA-SAMA TO IZEN NI TSUYASHIMA-SAMA  
YORI GOSYOUKAI WO ITADAKIMASHITA TENMONDAI TO BOUENKYOU WO OTSUKURI  
NI NATTA HITO NO SYUZAI NI MAIRITAI TO KANGAETEIMASU.

WATAKUSHI NO KATTENA KIBOU TOSHIYETINA 1-GATSU-31-NICHI KARA  
1-GATSU ----- DEWANAKU 2-GATSU-2-NICHI KOROMADE KUMAMOTO NI TAIZAI  
WOSHITE IROIRO NA SYUZAI WO SHITAL TO KANGAETEORIMASU.

DEKIREBA MIYAMOTO-SAMA WO HAJINETOSURU TENMONDAI NO KATAGATA NIMO  
OAISHIHITE HOSHINOKOTO YA KIKAI NOKOTO WO OHANASHI SHITAINODESUGA GOTSGOU WA  
IKAGANAMONODESYPOUKA??

DENNWA NITE MOTA GORENRAKU WOITASHIMASU. SOREDEHA MINASAMA NI YOROSHIKU  
OTSUTAE KUDASAI. KISETSUGARA GOKENNKOU NI WA KUREGURE NO CKIOTSUKE KUDASAI.

IJYOU.

Y.TAKATSUKI

write letter on 87/01/27 18:54:06

↑ 天文ガイドの高規氏より手紙が来てました。  
高規氏は1月31日に来館され、西川さんと、高森の永井さんを取材されました。

## NGC 打ち込み終わったぞ！

Y. TAKATA

「NGC／IC打ち込み」の事について何も知らせてなかつたので、ここでお知らせしとります。  
。「NGC, IC打ち込みに参加されませんか。」とパソコン通信でお誘いがあったのが、確か去年の11月下旬の頃でした。NGC, ICカタログ...: 全天の星雲。星団のデータを収めたカタログで約1万3000個の天体についてあります。これをパソコンに打ち込んでおけば、彗星探索などに非常に威力を發揮します。ところが一人で打ちこむには非常に量が多すぎるので、札幌の金田宏さんが中心となって全国の星仲間で分担しようということになりました。そして天文台でも12月の運営委員会でそれに一枚加わることになったのです。

。1月の終わりに、札幌から手紙や打ち込み用プログラムといっしょに、20ページ1200コ分のカタログが送られてきました。NGC第6156～7314. ちょうど夏の銀河を含む部分ですが、打ち込む方にとては、ただ数字とのにらめっこ。過ぎたし夏の夜の銀河に想いを馳せる。..てなことはナイナイ。

。ともかく、1月22日から2月9日までの間に1200コのデータは入力されました。バンザイ。以下の人はデータ打ち込みに協力して下さった方々です。どうも寒い所（コンピュータ一室は冷えるのです）にひっそりとんじゅって下さいません。

岩切さん

木下さん

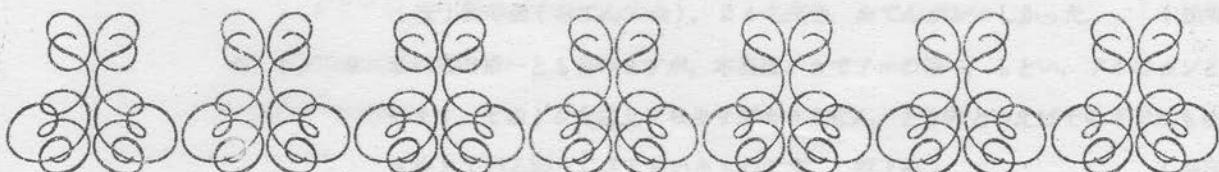
佐藤さん

高田さん (平均年齢 推定21才)

吉田さん

。データが入ったディスクケットは札幌に送ります。2月下旬には、NGC, ICのデータを満載してディスクケットが戻ってきます。これは天文台の貴重な財産となることでしょう。あとはこのデータを生かしたプログラム作りですが....。

募集!! 天文台では天文ソフトを作つて下さるプログラマーの人を募集しています。又、各種、天体ソフトを持っておられる方、ぜひ天文台にお立ち寄り下さい。専、天文台の機種はPC9801VX2です。



## 自己紹介

糸永 修司

熊大工学部金属工学科の糸永ですどうぞよろしく。

熊大天研に入って早、一年経とうとしていますが、まだ天文台の方には数えるほどしか行っていないので、皆さんは僕の存在を知らない方も多いと思います。しかし、気が向いた時などは、天文台の表に、白／青の単車が駐車してあるので、見つけたら僕が在る証拠ですので、気軽に声をかけてください。もっとも今現在それを運転する免許を持っていませんが....。

さて、これまでに星くずに六十一年度天研新入部員のほとんどが、自己紹介を書いたわけですがそれらを読んでの通り、大部分の人が以前より何らかの形で、天文に興味を持っていたのに対し僕はと言えば、天文の「て」の字も知らずに他の事に熱中（もちろん勉強だと思っている人はいないでしょう。）していたのです。もっとも僕が小学校に通っていたときに北斗七星を偶然自分で見つけた時には理科の教科書に載っている様なちまちましたものではなく、北の夜空にどこかくひしゃく形で並んで光っていたので、なかなか幼心に感動してしばらくの間それを眺めていた。と、いうこともましたが、ここで何らかの形で運命づけられている人は、それからというものもっと星について知りたくなってやまれず、毎晩夜空を眺めたり、その筋の本を読みあさったり、ネット進んで望遠鏡を買ってもいたりとするものなのでした。或食ながら晩にはそのようなことはちっともなく、次の日の朝がやってくる頃には、また普通の小学生に戻っていました。

そのような僕が何故大学に入ってから天研というものに入ったかというと、別にあるときまた夜空を見上げていて偶然スバルを見つけて感動したとかそういうのではなく、大学入りたてのある日の昼休み、知り合ったばかりの同学科の甲斐君（19才）に半ばだまされて天研の説明会の行なわれている教室に連れていかれてしまったことがきっかけです。（僕は次の時間の数学の教室はどこかと聞いただけなのに。）

そして、何故か飽きやすい僕が今も在籍しています。皆さんの足手まといばかりで、ひんしゅくを買うこともたびたびですが、今年から富永さんの後を引き継いで天研の会計になってしましました。

このような仕事を受け持った以上、他のことも含めて今年は頑張りたいと思います。

- ★ 1/14 この冬一番の寒さ。まさか来台者は、と思いきや、ご熱心な一家族有り。（立川）
- ★ 1/20 久しぶりに雲1つなく晴れる。絶好の写真びよりである。何を撮ろうかまようなあ。  
M42, M44, M45, . . . 白にする？あっ！そうだ。あの人の為に赤いバラ  
の花を撮ろうかな。（松崎）
- ★ 1/28 お客様が帰られた後も、望遠鏡を使用していて、Jさんにお客が帰ったのを知ら  
せずに、Jさんの彗星観測の時間をつぶしてしまいました。Jさんすみません。ゴ  
メンナサイ。（富永）
- ★ 1/30 このところ、『風雲たけし城』をじっくりと見る。金曜日の運営委員であった。ち  
なみに今日は1987年になって、はじめての金曜日の運営であった。（GPX）

### 編集後記

本当におくれてしまいました。2月号担当の高田君から催促されながらも記事がなく、2月号の方があが先に出るという噂（事実になったりして）が流れたりしましたが、それでも合併号にはしたくはないというと、彼が書いてくれまして、なんとか、星屑の形（8ページ）はなしています。それ  
で、台長さんの塗擦を遅らしてしまった事には羽と書いていいのか、すみませんでした。  
しかし、物は考え様で、一言、年が明けてすでに2ヶ月近くが過ぎようとしていますが、元旦に  
立てた1年の計もそろそろ緩みがちなのでは、台長さんの言葉で初心を憶いだしてみてはいかがで  
しょうか。「ばかやろう。緩んどののは貴様の方やろうが」という声が聞こえるようです。

（福岡昭彦）

熊本県民天文台機関誌「星屑」 1987年 1月号 通巻146号

発行所 熊本県民天文台 〒861-42 熊本県下益城郡城南町藤山

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号 熊本博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 福岡昭彦